



藻場と保全の取り組み (No. ⑨)



藻場の名称	赤穂海浜公園前		
海域(府県)名*1	播磨灘(兵庫県)	エリア名*1	
藻場の面積	3ha 出典:【平成17年度～平成19年度「台風による消失したアマモ場の現地調査とその回復事業」報告書(2008.3.31)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	遠浅の海岸で、台風による一時的な藻場面積の減少はあるが、自然に回復する安定したアマモ場である。		
保全の取り組み名称	アマモ種子の採取および保存事業		
実施団体名	特定非営利活動法人アマモ種子バンク		
連絡先住所	〒663-8142 西宮市鳴尾浜 1-1-8		
代表者名	出口一郎	Email	amamojimukyoku@amamobank.sakura.ne.jp
団体会員数	69名	HP	http://www.amamobank.sakura.ne.jp
(活動の概要)	赤穂海浜公園前のアマモ場で花枝(種子)を採取し、江井ヶ島港岸壁に設置した海水流下水槽に花枝を入れて養生し、1～2か月後に鞘から分離した種子を雑物から選別する。選別したアマモ種子は使用時まで、4℃に設定した恒温高湿庫に保存しておく。 平成15年度より赤穂市・海っ子倶楽部、相生市・相生湾自然再生学習会議が地元小学校3年生児童の環境体験学習として行っているアマモ苗を育成し、移植するアマモ場再生事業に種子を融通し、協力している。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年6月22日 (活動内容) アマモ花枝(種子)の採取  <ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月18日 (活動内容) アマモ種子の養生 		

<ul style="list-style-type: none"> 平成20年7月24日 (活動内容) アマモ種子の選別 
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年8月19日 (活動内容) アマモ種子の保存(恒温高湿庫:設定温度4℃) 
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年10月29日 (活動内容) アマモの種まき会(那波小学校、相生小学校) 

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年～30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
<ul style="list-style-type: none"> ○野鳥: ○藻場の生き物: ○海藻(海草): アマモ ○植物: 	
希少種の特徴等	
「希少種は存在しない」	

藻場と保全の取り組み (No. ⑩)

藻場の名称	明石市・江井ヶ島海水浴場前		
海域(府県)名*1	播磨灘(兵庫県)	エリア名*1	
藻場の面積	0.25ha 出典:【本アマモ場で地曳網を行っており、その際の目測による(2018.1.14)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	遠浅の海岸で、江井ヶ島港沖防波堤が設置されて西風の冬季風浪が遮蔽され、毎年花枝(種子)採取、移植用のアマモ株を採取しているが、藻場面積の減少することもなく、安定したアマモ場である。しかし、海水交換が潮汐によるものだけで、アマモ場内に流入した細粒分がトラップされてアマモ場内に滞留するため、底質が軟泥化しており、将来アマモが一朝にして無くなることも考えられる。		
保全の取り組み名称	アマモ種子の採取および保存事業		
実施団体名	特定非営利活動法人アマモ種子バンク		
連絡先住所	〒663-8142 西宮市鳴尾浜 1-1-8		
代表者名	出口一郎	Email	amamojimukyoku@amamobank.sakura.ne.jp
団体会員数	69名	HP	http://www.amamobank.sakura.ne.jp
(活動の概要)	江井ヶ島海水浴場前のアマモ場で花枝(種子)を採取し、江井ヶ島港岸壁に設置した海水流下水槽に花枝を入れて養生し、1~2か月後に鞆から分離した種子を雑物から選別する。選別したアマモ種子は使用時まで、4℃に設定した恒温高湿庫に保存しておく。 平成15年度よりりんくう5協が関空前沿岸部(樽井サザンビーチ~二色の浜公園)でのアマモ場再生事業、環境教育技術振興会や大阪海さくらが行っている小学生児童や市民によるアマモ場再生事業(せんなん里海公園)に種子を融通し、協力している。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年6月29日 (活動内容) アマモ花枝(種子)の採取  平成27年11月12日 (活動内容) アマモの種まき会(田尻小学校)  		

関連する生物種等	は希少種
○野鳥: ○藻場の生き物: ○海藻(海草):アマモ ○植物:	
希少種の特徴等	
「希少種は存在しない」	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

藻場と保全の取り組み (No. ⑪)

藻場の名称	明石市・江井ヶ島海水浴場前		
海域(府県)名*1	播磨灘(兵庫県)	エリア名*1	
藻場の面積	0.25ha 出典:【本アマモ場で地曳網を行っており、その際の目測による(2018.1.14)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	遠浅の海岸で、江井ヶ島港沖防波堤が設置されて西風の冬季風浪が遮蔽され、毎年花枝(種子)採取、移植用のアマモ株を採取しているが、藻場面積の減少することもなく、安定したアマモ場である。しかし、海水交換が潮汐によるものだけで、アマモ場内に流入した細粒分がトラップされてアマモ場内に滞留するため、底質が軟泥化しており、将来アマモが一朝にして無くなることも考えられる。		
保全の取り組み名称	実感 アマモは海のゆりかごだ!		
実施団体名	特定非営利活動法人アマモ種子バンク		
連絡先住所	〒663-8142 西宮市鳴尾浜 1-1-8		
代表者名	出口一郎	Email	amamojimukyoku@amamobank.sakura.ne.jp
団体会員数	69名	HP	http://www.amamobank.sakura.ne.jp
(活動の概要)	アマモ場にどんな生き物がどれほど棲んでいるか、小型地曳網を用いた自生アマモ場の生物調査を児童達や市民に自ら体験してもらい、獲れた生き物を自分の目で見て、触れることにより、海のゆりかごアマモ(アマモ場)の大切さを実感してもらい、その再生を目指す活動への理解と共感を広げることを目的にアマモ場に生息する生物の四季調査を兼ねて行っている。		
(主な活動内容)	種の供給・再生、調査研究、磯清掃、食害動物駆除、 <u>研修会・学習会</u> 、他との協同連携 その他()		

(最近の活動実績)

・平成28年9月25日

(活動内容) アマモ場に生息する生物調査(夏季)



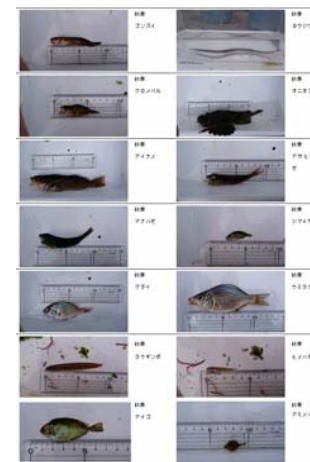
地曳網の様子



生き物の選り分け



神戸市立須磨海浜水族園の岩村飼育課長さんから生き物の説明


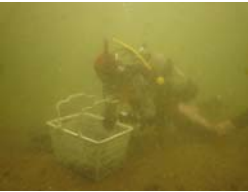



当日の採捕生物

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	<input type="checkbox"/> は希少種
○野鳥:	
○藻場の生き物:	
○海藻(海草): アマモ	
○植物:	
希少種の特徴等	
「希少種は存在しない」	

藻場と保全の取り組み (No. ⑫)

藻場の名称	明石市・魚住沖浅場		
海域(府県)名*1	播磨灘(兵庫県)	エリア名*1	
藻場の面積	0ha 新たなアマモ場造成		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	加古川河口部の浚渫土砂で新たに造成された面積450m×450m、天端高-5.0mの浅場上に、隣接した江井ヶ島海岸の自生アマモ場で採取した種子および栄養株を用い、新たなアマモ場を創出する。		
保全の取り組み名称	明石市魚住沖に新たに造成された浅場でのアマモ場造成事業		
実施団体名	特定非営利活動法人アマモ種子バンク		
連絡先住所	〒663-8142 西宮市鳴尾浜 1-1-8		
代表者名	出口一郎	Email	amamojimukyoku@amamobank.sakura.ne.jp
団体会員数	69名	HP	http://www.amamobank.sakura.ne.jp
(活動の概要)			
江井ヶ島海水浴場前のアマモ場で採取した栄養株を金網法により浅場上に移植する。また、採取保存した種子をアマモパック法により浅場上に播種する。そして、栄養株の活着状況、種子の発芽、生育状況を定期的に行う。			
(主な活動内容)			
種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()			
(最近の活動実績)			
<ul style="list-style-type: none"> 平成30年1月14日 (活動内容) アマモ場造成(金網法による栄養株の移植およびアマモパック法による播種) 			
			
アマモ栄養株の移植		アマモパック法による播種	
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年8月11日 (活動内容) 平成28年12月18日に移植した栄養株の追跡調査 			
			

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	は希少種
<ul style="list-style-type: none"> ○野鳥: ○藻場の生き物: ○海藻(海草): アマモ ○植物: 	
希少種の特徴等	
「希少種は存在しない」	

藻場と保全の取り組み (No. ⑬)

藻場の名称	玉野市山田港胸上地先		
海域(府県)名*1	播磨灘(岡山県)	エリア名*1	児島湾
藻場の面積	21.71 ha 出典:【岡山県(平成27年度 藻場分布状況調査)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	平成27年度の岡山県の調査により、砂泥域においてアマモ場が確認された。		
保全の取り組み名称	アマモ場再生活動		
実施団体名	胸上漁業協同組合		
連絡先住所	〒706-0305 岡山県玉野市胸上1808		
代表者名	國屋利明	Email	
団体会員数	82名	HP	
(活動の概要) 胸上地先は、かつて広範囲にアマモが繁茂していたが、様々な環境の変化によりアマモ場が激減した。近年、海域環境の回復によりアマモ場が徐々に再生してきており、更なるアマモ場面積の増加を目指し、胸上漁業協同組合、玉野市及び岡山県が連携し、アマモ場再生活動を実施している。			
(主な活動内容) 種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他(播種後の調査)			
(最近の活動実績) ・平成28年2月26日 底質調査及び藻場造成海域の選定 ・平成28年6月25日 アマモの種の採取 参加者 18名(漁業者、行政) ・平成28年9月17日 アマモの種の選別及び播種 参加者 16名(漁業者、行政) ・平成29年2月16日 発芽状況調査 ・平成29年6月27日 アマモの種の採取 参加者 23名(漁業者、行政) ・平成29年11月1日 アマモの種の選別及び播種 参加者 17名(漁業者、行政)			
			
		アマモの種子	
			
アマモの種(花枝)の採取 H29/6/27	種の選別 H29/11/1	播種 H29/11/1	

関連する生物種等	は希少種
○野鳥: ○藻場の生き物: ○海藻(海草):アマモ ○植物:	
希少種の特徴等	
不明	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

藻場と保全の取り組み (No. ⑭)

藻場の名称	玉野市山田港胸上地先		
海域(府県)名*1	播磨灘(岡山県)	エリア名*1	児島湾
藻場の面積	3.05ha 出典:【岡山県(平成27年度 藻場分布状況調査)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	平成27年度の岡山県の調査により、岩礁区域でガラモ場が確認された。		
保全の取り組み名称	浜の活力再生プラン推進事業(小型藻場ブロック設置)		
実施団体名	岡山県地域水産業再生委員会(玉野市役所農林水産課)		
連絡先住所	〒706-8510 岡山県玉野市宇野 1-27-1 玉野市役所農林水産課 (岡山県地域水産業再生委員会玉野市地区部会事務局)		
代表者名	Email	nourinsuisan@city.tamano.lg.jp	
団体会員数	HP		
(活動の概要)			
浜の活力再生プラン推進事業を活用し、ガラモの生育に適した海域に小型藻場ブロックを試験的に設置した。また、その後のガラモの定着効果を検証し、藻場再生を効率的に進めるための基礎資料とする。			
(主な活動内容)			
種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携			
その他(小型藻場ブロックの設置、設置後の調査(予定))			
(最近の活動実績)			
<ul style="list-style-type: none"> 平成29年11月9日 胸上地先に小型藻場ブロック24基を設置 			
 <p>小型藻場ブロック</p>			
 <p>藻場ブロックの設置 1</p>		 <p>藻場ブロックの設置 2</p>	

関連する生物種等	は希少種
<ul style="list-style-type: none"> ○野鳥: ○藻場の生き物: ○海藻(海草):ガラモ ○植物: 	
希少種の特徴等	
不明	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省:H28年~30年)参照

藻場と保全の取り組み (No. ⑮)

藻場の名称	備前市日生町地先		
海域(府県)名*	播磨灘(岡山県)	エリア名*	牛窓
藻場の面積	250 ha 出典:【岡山県(平成27年度 藻場分布状況調査)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	備前市日生町地先には大小14の島が点在し、本土と島々の間の静穏な海域にアマモが繁茂している。また、本地域のアマモの大半が1年生アマモであるので、衰退期にはアマモ場面積が大きく減少する。		
保全の取り組み名称	アマモ場「里海」プロジェクト		
実施団体名	日生町漁業協同組合		
連絡先住所	〒701-3204 岡山県備前市日生町日生 801-4		
代表者名	淵本重廣	Email	hinasegy@beach.ocn.ne.jp
団体会員数	141名	HP	http://www.hinase.net
(活動の概要)	<p>昭和20年代590haあったアマモ場は、高度経済成長期における様々な環境の変化により、昭和60年には12haにまで減少した。漁業者19名と漁協青年部12名が、わずかに残ったアマモの種を播き始めた昭和60年から活動は継続され、現在250haまで回復している。</p> <p>なお、平成24年に日生町漁業協同組合、生活協同組合おかやまコープ、特定非営利活動法人里海づくり研究会及び岡山県の4者はアマモ場再生活動に係る連携協定を締結し、幅広い参加者による再生活動を実施している。</p>		
(主な活動内容)	<p>種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他()</p>		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年6月22日 アマモの種の採取(流れ藻採取) 参加者 約170名(漁業者、日生町中学校生徒など) 平成28年6月3日 アマモの種の採取(流れ藻採取) 参加者 約170名(漁業者、おかやまコープ組合員、アマモサミット参加者、行政など) 平成28年9月30日 アマモの種の選別及び播種 参加者 約80名(漁業者、日生町中学校生徒など) 平成28年10月15日 アマモの種の選別及び播種 参加者 約100名(漁業者、おかやまコープ組合員、行政など) 平成29年6月10日 アマモの種の採取(流れ藻採取) 参加者 約170名(漁業者、おかやまコープ組合員、日本プロジェクト参加者、行政など) 平成29年6月14~16日 アマモの種の採取(流れ藻採取) 参加者 約280名(漁業者、日生町中学校生徒など) 平成29年10月14日 アマモの種の選別及び播種 参加者 約100名 (漁業者、おかやまコープ組合員、おかやま環境ネットワーク会員、行政など) 平成29年10月18日 アマモの種の選別及び播種 参加者 約100名(漁業者、日生町中学校生徒など) 平成29年11月6日 アマモの播種 参加者 約10名(漁業者) 		



アマモの種の採取(流れ藻採取)
H29/6/10



種の選別
H29/10/14

播種
H29/10/14

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省:H28年~30年)参照

関連する生物種等	<input type="checkbox"/> は希少種
○野鳥:	
○藻場の生き物:多様な魚介類	
○海藻(海草):アマモ	
○植物:	
希少種の特徴等	
不明	

藻場と保全の取り組み (No. ①⑥)

藻場の名称	瀬戸内市邑久町長島地先		
海域(府県)名*1	播磨灘(岡山県)	エリア名*1	牛窓
藻場の面積	170ha 出典:【岡山県(平成27年度 藻場分布状況調査)】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	長島と本土に挟まれた静穏な海域に、アマモが繁茂している。本地域のアマモの大半が1年生アマモであるため、衰退期にはアマモ場面積が大きく減少する。		
保全の取り組み名称	アマモ場再生活動		
実施団体名	邑久町漁業協同組合		
連絡先住所	〒701-4501 岡山県瀬戸内市邑久町虫明 4256		
代表者名	横山 満明	Email	ok-gyo@snow.ocn.ne.jp
団体会員数	182名	HP	

(活動の概要)
瀬戸内市邑久町地先には、かつては広大なアマモ場で存在していたが、様々な環境の変化により、アマモ場が激減した。近年、海域環境の回復により徐々にアマモ場が再生してきており、更なるアマモ場面積の増加を目指し、平成25年に邑久町漁業協同組合、生活協同組合おかもやまコープ、特定非営利活動法人里海づくり研究会及び岡山県の4者がアマモ場再生活動に係る連携協定を連携し、幅広い参加者による再生活動を実施している。

(主な活動内容)
種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携
その他()

(最近の活動実績)
・平成28年6月15日 アマモの種の採取(流れ藻採取)
参加者 31名(漁業者、おかもやまコープ組合員、行政など)
・平成28年10月19日 アマモの種の選別及び播種
参加者 22名(漁業者、おかもやまコープ組合員、行政など)
・平成29年6月17日 アマモの種の採取(流れ藻採取)
参加者 31名(漁業者、おかもやまコープ組合員、行政など)
・平成29年10月21日 アマモの種の選別及び播種
参加者 27名(漁業者、おかもやまコープ組合員、行政など)



集合写真
H29/6/17



アマモの種の採取(流れ藻採取)
H29/6/17



種の選別
H29/10/21





播種
H29/10/21

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省: H28年~30年) 参照

関連する生物種等	<input type="checkbox"/> は希少種
○野鳥: ○藻場の生き物: ○海藻(海草):アマモ ○植物:	
希少種の特徴等	
・不明	

藻場と保全の取り組み (No. ⑰)

藻場の名称	さぬき市鴨庄地先		
海域(府県)名*1	播磨灘(香川県)	エリア名*1	瀬戸内海東部
藻場の面積	4 ha 出典:【平成28年度実施団体調べ】		
藻場のタイプ	アマモ場 ガラモ場 アラメ・カジメ場 ワカメ場 その他()		
藻場の特徴	志度湾東部、鴨部川の河口に位置するアマモ場。底質は砂、小礫。河川から流入する砂の堆積が見られる。		
保全の取り組み名称	藻場の保全(栄養塩の供給)		
実施団体名	鴨庄漁協活動組織		
連絡先住所	〒769-2102 香川県さぬき市鴨庄4374番地30		
代表者名	山本 浩智	Email	
団体会員数	257名	HP	
(活動の概要)	アマモ場の増殖を図るため、漁業者等が河口部での施肥及び付近のため池の放水を実施し、海域への栄養塩供給を行う。		
(主な活動内容)	種の供給・再生 調査研究 磯清掃 食害動物駆除 研修会・学習会 他との協同連携 その他(施肥及びため池の放水による海域への栄養塩供給)		
(最近の活動実績)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年12月～平成28年3月 施肥:延べ19回実施 ため池の放水:2箇所のため池を水抜き 平成29年1月～3月 施肥:延べ27回実施 ため池の放水:1箇所のため池を水抜き 		
			
施肥		放水中のため池	

関連する生物種等	は希少種
<ul style="list-style-type: none"> ○野鳥:未調査 ○藻場の生き物:有用水産物の幼稚仔魚 ○海藻(海草):アマモ ○植物:未調査 	
希少種の特徴等	
希少種は確認されていない。	

*1:「瀬戸内海における藻場・干潟分布状況調査」(環境省:H28年～30年)参照